

科目名	日本文学史（近世）					単位	2.0
担当教員	服部 仁						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	2505

●授業のテーマ  
日本近世文学史

●到達目標  
日本近世文学の流れを理解する。

●学習内容(授業概要)

戦乱と動乱の中世から、平和と繁栄の近世へと移り、読書も学問・教養から娯楽へと移行する。そうした時代の文学について、政治・経済といった視点からも見ている。

本年は特に、黄表紙・合巻、洒落本、滑稽本、読本、人情本といった、いわゆる江戸の戯作について見ていこうと思う。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 仮名草子
2. 浮世草子
3. 西鶴の俳諧
4. 芭蕉の俳諧
5. 『好色一代男』
6. 西鶴の浮世草子
7. 近松門左衛門
8. 近松の世話物
9. 江戸幕府の政策・淀屋敷所事件・相対死
10. 赤穂浪士一件
11. 江戸時代の学問所・藩校、寺子屋、そして識字率
12. 享保七年寅年の御触書、本屋仲間、そして貸本屋
13. 漢学、通俗物
14. 前期読本
15. 談義本

●準備学習・事後学習の内容

高校の文学史の近世を一通り復習しておくこと。授業後は、高校の文学史では習わなかったことは何かを確認しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点（30%）と筆記試験によって評価（70%）する。

●テキスト（必携）

特になし。

●参考文献／その他

神保五彌編『近世日本文学史』（有斐閣）。

●履修上の注意

皆出席するのは当然です。